

委員会の活動

※継続審査となった請願・陳情は、7月13日の議員任期満了を迎えると、審査未了、廃案となります。

総務委員会

〔陳情の審査〕

採択すべきものと決定

- ◆外交による中東情勢の平和解決と国民生活の安定を求める意見書提出に関する陳情

不採択すべきものと決定

- ◆落書き等防止条例の策定に関する陳情
- ◆国に国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出に関する陳情

〔主な報告事項〕

- ◆窓口受付時間の見直し方針（案）について
- ◆立川市マイナンバーカードセンターの開設について

外 8 件

文教委員会

〔主な報告事項〕

- ◆立川公園陸上競技場基本計画改定について
- ◆令和9年度小学校5年生宿泊行事の検討状況について
- ◆令和8年度 自閉症・情緒障害特別支援学級の開設について

外 3 件

〔所管事項質問〕

- ◆インクルーシブ教育における評価・通知表について
- ◆特別支援学級と通常学級との交流について

議会改革特別委員会

〔議題〕

- ◆立川市議会基本条例第6条、第18条、第21条について
- ◆審査意見報告について
- ◆改選後の議会への引継ぎについて

厚生委員会

〔陳情の審査〕

継続審査すべきものと決定※

- ◆市内公共施設内の点字ブロックをシルバーから黄色に変更していただきたいに関する陳情

〔主な報告事項〕

- ◆令和8年度 保育施設の待機児童について
- ◆麻しん対策事業の実施について

外 7 件

〔所管事項質問〕

- ◆子どもの権利条例（仮称）制定に向けたすすめ方について
- ◆ヤングケアラーコーディネーター設置について
- ◆疾病や難病等により、家計が急変している世帯への支援について

環境まちづくり委員会

〔議案の審査〕

可決すべきものと決定

- ◆立川市道2級27号線の認定について
- ◆立川市道2級28号線の認定について
- ◆立川市道2級29号線の認定について
- ◆立川市道2級30号線の認定について
- ◆立川市道南212号線の廃止について

〔陳情の審査〕

不採択すべきものと決定

- ◆立川市宅地開発等まちづくり指導要綱第25条を削除するか、又は、当該条文中の「無償」を「有償」に改正することを求める件
- ◆灰皿の撤去に関する陳情
- ◆違反広告物の撤去数の掲載に関する陳情

〔主な報告事項〕

- ◆公園の花火利用の試行実施について
- ◆物価高騰等に対する農業者支援について

外 9 件

〔所管事項質問〕

- ◆道路交通法改正を踏まえた市の対応について
- ◆地域公共交通の進捗について

今任期の所管事務調査が終了しました

所管事務調査とは、市議会が独自の調査・研究や市民との意見交換等を踏まえて検討した政策・施策を、市（執行部）に対して提案していこうとするものです。

令和6年第3回定例会より具体的な取り組みを開始し、各常任委員会でテーマに沿った勉強会やヒアリング等を実施してきましたが、令和8年第2回定例会をもって、全ての常任委員会における所管事務調査が終了しました。各委員会の提言書は、市議会ホームページ、令和6年6月から令和8年7月までの取り組み状況のページから見ることができます。



各委員会の
取り組み状況

総務委員会

テーマ：公契約条例について

提言書の概要（令和7年3月14日立川市長に提出）

- ・建設業はバブル崩壊後、人材が減少したが仕事量は増え、物価高が続いており、若手人材のなり手が少ない。職人育成や待遇・賃金保証等の取り組みを求める。
- ・下請け業者の管理業務には課題が多い。下請け業者の方々の意見もよく聞き、運営に反映いただきたい。
- ・書類や事務手続きなど、事業者の労力負担の軽減を求める。
- ・公契約条例施行後の検証を適時適切に行い、よりよい条例となるよう不断の見直しに努めていただきたい。

文教委員会

テーマ：地域に根差した学校施設のあり方

提言書の概要（令和8年5月22日立川市教育委員会教育長に提出）

- ・令和8年2月に開催した市民のみなさんとの意見交換会において寄せられた声や、第二小学校のにしょばらルームの視察において、地域の人材を生かす仕組みづくりや、活動機会の拡大、地域団体・サークル等との連携が重要であると感じた。地域に根差した学校とするため、ボランティア等の地域力をより一層生かした学校運営を進めることを求める。
- ・小学校の中にプレーパークのような、子どもたちが自分で考え、決めて実行することで、学びや遊びの中で自主性・主体性を伸ばすことができる場を設けることを検討していただくよう求める。

厚生委員会

テーマ：地域共生社会に向けた移動支援について

提言書の概要（令和8年5月28日立川市長に提出）

- ・現在検討が進められている地域内交通について、地域住民、関係団体、事業者等との連携や地域資源の活用など、地域主体の視点を踏まえながら、持続可能な移動支援体制の構築に取り組むことを求める。
- ・買い物や通院等の日常生活を支える移動や、地域の居場所・公共施設へのアクセス確保について、福祉と交通の連携の視点から取り組むことを求める。

環境まちづくり委員会

テーマ：環境美化・マナーアップ（ポイ捨てについて）

提言書の概要（令和8年5月28日立川市長に提出）

- ・ポイ捨ての実態を把握し、見える化を進めること。
- ・地域（市民）・事業者・学校などとの協働体制を強化すること。
- ・市民の行動に結びつくよう、マナーアップキャンペーンを工夫すること。
- ・ごみ箱・喫煙所などのあり方を点検・検討すること。
- ・喫煙制限条例や関連するルール等の周知と実効性を確保すること。
- ・イベント等開催時のごみ対策を強化すること。
- ・自販機メーカーやたばこ販売業者に市との協力を促すこと。
- ・市民が参加しやすいごみ拾いキャンペーンを毎年開催すること。